白石小学校だより

山口市立白石小学校
第４号
２０１９.7.1 発行

ま　ず　笑　顔　！　　幸せに生きる力を育む

一つ目は、出会った笑顔です。

授業や遊びの中で、子どもがうれしそうな顔をみせる一瞬があります。国語で自分の意見をいったらまわりの友だちが「あ～～そうか!」と感心してくれた瞬間の笑顔。のぼり棒で初めて上までいけたときの笑顔。幸せそうな顔というのでしょうか、見ているこちらもうれしく幸せな気持ちになります。

二つ目は、もらった笑顔です。

朝、出会ったとき目を合わせてニコニコしながら「おはようございます」と笑顔をくれる子どもも少なくありません。満面の笑みとその気持ちよさにこちらの顔もほころびます。とてもうれしい幸せな一日のスタートになります。

三つ目は、がんばった笑顔です。

本年度も白石小学校に新規採用の先生が４月１日着任しました。新年度スタートはベテランも疲れ果てます。勤め始めて４日目の朝、身も心を疲れがたまる時です。職員室に入るとまわりの教職員に「おはようございます」と本当に笑顔一杯！の朝の挨拶でした。その笑顔を見ていて･･･*連日忙しく、いろいろなことが分からず不安で･･･。やらないといけないことがたくさんあって･･･あまり寝れない･･･！今朝も辛かったろうな！*などと、勝手に想想しながら、がんばっている「笑顔」に感謝・感激しました。

笑顔施（和顔施）ということばがあります。財産やお金、親切がたとえできなくても、笑顔は人に幸せを渡すことができる、笑顔で人を幸せにできるという教えです。

日々の中でなかなか難しいのですが、私たち大人が人のためにも自分のためにも、まず笑顔でいたいものです。ときにはがんばらないといけないかもしれませんが･･･。

「まず笑顔」で！「笑顔いっぱいの白石小学校」を目指していきたいと思います。

暑さが厳しくなってまいります。本格的な梅雨がやってまいります。くれぐれもご自愛くださいませ。

校長　藤永　靖彦

「うん！ うん！」

６月２１日(金)の帰りの会である男の子から**「〇〇くんのホウセンカが元気がないので皆さん、協力して水をたっぷりあげましょう」**という提案があった。みんなは（うん！うん！）とうなずく。すぐに〇〇くんも席を立って**「ありがとう」**とのやりとりがあった。

翌週のこと、また帰りの会で**「みなさん！ありがとうございます」「〇〇くんのホウセンカが　２本も育ってきました。ありがとうございます」**みんな、笑顔！大拍手！だったそうです。

(学級だよりより)

集団で過ごすことは、よいことばかりでなく時に不本意であったり、悲しかったりすることもあります。でもこんな温かさに包まれる場面も少なくありません。

これらの配分の中で子ども達はきちんと成長していくように思います。